

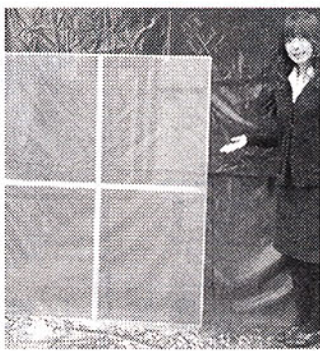
## 不二製作所

# 太陽電池市場に参入

サンドブラスト装置販売 省エネ・低価格前面に

不二製作所（東京都江戸川区、間瀬恵二社長、03・3686・2291）は、薄膜型太陽電池向けサンドブラスト装置市場に本格参入する。太陽電池パネル上の透明導電膜（TCO膜）を効率よく除去できる省エネ型のサンドブラスト装置を開発、受注を始めた。TCO膜に研磨剤を吹き付けるエア量を同社従来機比で5分の1に減らせ、環境対策となる。世界的な景気減速下でも太陽電池関連市場は堅実な成長を見込めると判断。東南アジアなど海外でも積極的に受注していく。

不二製作所が開発したサンドブラスト装置の価格は4500万円。レーザー加工でTCO膜を取り除く従来の装置は1億円前後と高価で、同社は価格優位性を武器に拡販。目標販売台数は内外計で年10〜20台。



太陽電池パネル（ガラス板）上に重ねたTCO膜の重なりをレーザー加工で除去する。目録販売台数は内外計で年10〜20台。

うち、不必要な膜にアルミナ系の研磨剤を吹き付け、除去する。ガラス板の4辺の縁部分のTCO膜を除去するもので、隣り合うガラス板間の電極を切る工程に使う。

最大1・1×1・4サイズのガラス板に対応し、同サイズなら4辺の縁を30〜40秒で処理する。またマスクングなしに、ガラス板上を十字に加工することも可能。装置は全長6500mm×幅4500mm×高さ2800mm。研磨材をTCO膜に吹きつけた際に発生する粉塵は、新開発したキャビネットが自動回収するため、基板に付着せず洗浄費用も軽減できる。同社

は自動車や半導体関連をはじめ多方面にサンドブラスト装置を供給、年900台程度を生産している。今後成長を見込める太陽電池市場に本格参入し、収益力を向上させることにした。